

相模鉄道 5000形 形式図

1955年、日立製作所が製造した高性能車
 それまで中古車をそろえていた相模鉄道が、大いに意気盛んなところを見せた車両で、
 車体を卵型断面とし、床下機器を車体外板でカバーするなど思い切った試みをしている
 電動車2輦固定連結の軽量車で、パンタは奇数車に装備
 台車は日立KBD-108
 図は第一次 5001~4の奇数車を示したが、増備車は寸法や窓配置が違っている
 なお塗装は窓周りが灰色、腰と幕板が濃緑、それに赤と白のラインを入れてデビュー

